

と言われている。急坂を登り詰めると天保年間に建てられた「羽山神社」に出る。この周辺の尾根道周辺は、「アベマキ」の林で、木々の間から小島を一望できる。神社から二百[㌾]ほど進むと尾根は右に曲がり東に道を取ることになる。月館町の下手渡の集落を眺めながら三百[㌾]ほど登ると太郎坊山の山頂に着く。

この道は、羽山の本木戸であり、昔さまざまな山岳信仰の行事が行われた道である。

裏参道【梶野から山頂へ】

国道三四九号線の岩阿久^{いわひさ}から長寿泉に向かい約五百[㌾]進むと、左に折れる舗装道路があり三百[㌾]ほど進むと人家が途絶える。ここから約一[㌾]ほど林道を進むと車止めのゲートがあるのでここに自家用車を止めると、裏参道の登山開始である。左のほうに三百[㌾]進むと表参道の登山口がある。左の杉林の中の山道を進むこと約二十分で鞍部にたどり着く。ここは、田代や庭坂峠から登ってくる道の合流地点である。ここから太郎坊山頂までは二百五十[㌾]である。

【庭坂峠から山頂へ】

庭坂峠は旧「町道遠西田代線」にあり、国道三四九号線の「岩阿久^{いわひさ}」バス停留所の東にある旧道添いの「いわごや商店」から三[㌾]登ったところである。現在の町道を進み「長寿泉」と呼ばれる泉を過ぎ、田代峠を越えて五百[㌾]ほど下ると、旧道と合流する。旧道を百[㌾]ほど登ると庭坂峠となる。(旧道は梶野^{かつの}につながっているが道が荒れているので通行には注意が必要である。)石碑の前から登りはじめるが、尾根伝いに二百[㌾]ほど登ると一つ目のピークに着く。ここまでは、東斜面が雑木林、西斜面がヒバの植林地を進むこととなる。振り返ると川俣の町並みや大綱木の集落、長寿泉付近の道路が良く見える。ここからは二百[㌾]ほど平坦な笹藪の中を歩くと下りになる。さらに尾根沿いを三百[㌾]ほど下ると田代から登った道と合流し、鞍部となっている。ここから西に下る道が裏参道で梶野や表参道の鳥居付近につながる。この鞍部を北に二百五十[㌾]ほど登ると山頂となる。

なお、田代峠の北の尾根から尾根伝いに約一[㌾]ほど進むと庭坂峠に着く道もあるので利用するのも良いかと思う。